

ローラチェーンの切断を確実にまた、本製品を永くお使い頂くために下記の注意事項及び手順によりご使用ください。

注意事項

- 1) ご使用前に各部品が切断する目的チェーンに適用するかご確認下さい。
- 2) 異なる部品を使用してチェーンを切断すると各部品及び本体、チェーンを破損する事があります。
- 3) 必ず適用部品表をご確認して部品番号が合っているか確認のうえ作業を手順書通り進めて、安全にチェーンを切断して下さい。
- 4) ご使用レンチは適合表を参照してサイズの合ったレンチをご使用ください。
- 5) チェーンカッターピンを無理な力(トルク)で廻し作業をすると部品、チェーンに過負荷が掛かり曲がり、折れ等が発生して危険ですので、ゆっくり手順書に基づいて作業して下さい。
- 6) 異常トルクが掛かる時は手順書をご確認して、初めからやり直して下さい。
- 7) チェーンカッターピンを最後まで廻すとロックが掛かり戻りにくくなります、続けて作業をするとネジ部・他の部品破損に繋がりますのでチェーンピンが抜けたところで止めて下さい。
- 8) 作業に当っては、防護眼鏡等をご使用して安全に作業して下さい。
- 9) 使用変更に伴い部品等の規格変更を行う場合があります。
- 10) スペア一部品を用意させて頂いています。
- 11) 長くご使用に当り、ネジ部に適量の給油等をしてください。

◎ チェーンに合った専用型番のチェンカッターも御座いますのでお問い合わせください。

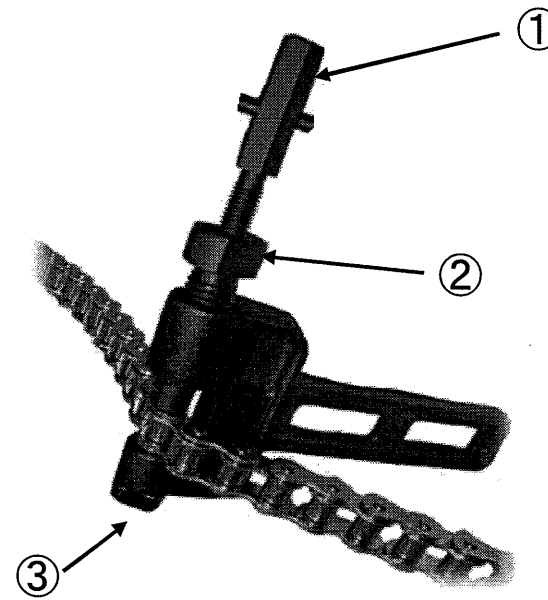
チェンカッター 適応チェーン表

1)	製番	ピン番号	(JIS) チェーン対応範囲					お勧め
			2A	25				
2)	CK23A	2A	25				自転車関係	
		3A	35	06B	410	415	41	一般産業
		3WA	35	35-2	CZ3	CY3		モーターサイクル関係
		4A	40	420	428	C2040	C2042	一般産業
3)	CK345A			CZ4	CY4			
		5A	50	520	528	C2050	C2052	
		4WA	40	40-2	420	428		モーターサイクル関係
				C2040	C2042	CZ4	CY4	一般産業
		5WA	50	520	530	50-2		
				C2050	C2052	CZ5	CY5	
3)	CK456A	6A	60	630	C2060H	C2062H		

ユニット 詳細			アルミケース 入り セット製品			備考
部品番号	本体 CKB		ピン CKPA	ピンホルダー	受けホルダー CKUH	
1)	CK23A	CKB23	部品番号	CKP2A	CKPH2	CKU2
			レンチサイズ	8	14	12
1)	CK23A	CKB23	部品番号	CKP3A	CKPH3	CKUH3
			レンチサイズ	8	14	12
2)	CK345A	CKB453W	部品番号	CKP4A	CKPH4	CKUH4
			レンチサイズ	10	17	13
			部品番号	CKP5A	CKPH5	CKUH5
			レンチサイズ	10	17	13
2)	CK345A	CKB453W	部品番号	CKP3WA	CKPH3W	CKUH3W
			レンチサイズ	10	17	13
3)	CK456A	CKB64W5W	部品番号	CKP4WA	CKPH4W	CKUH4W
			レンチサイズ	12	19	17
			部品番号	CKP5WA	CKPH5W	CKUH5W
			レンチサイズ	12	19	17
3)	CK456A	CKB64W5W	部品番号	CKP6A	CKPH6A	CKUH6A
			レンチサイズ	12	19	17

作業手順

使用例



- ① チェンカッターピン
- ② ピンホルダー
- ③ 受けホルダー
- * 製品は上記の写真と異なります



手順1.

ローラチェーンに割りピンの入ったものは、割りピンを取り除いてから次の操作に入ってください。

手順2.

ローラチェーンが図のように入るまで②ピンホルダーを(左回転)戻します。

手順3.

①カッターピンのピン先を②カッターピンホルダーの先端より3mm以上内に入るまで(左回転)戻します。

手順4.

チェーンの切断部分のチェーンピンの片側を③の受けホルダーの穴に合わせ入れます。

手順5.

②ピンホルダー先端のクボミにチェーン手順4. のチェーンピン(反対側)を合わせ②ピンホルダーを右に廻しながらチェーンプレートを押さえ固定します。添付のレンチを合わせて締付けます。(トルクが掛かったところから10~20度締付けが目安です)

手順6.

ゆっくりと①カッターピンをレンチで右に回します。トルクが掛かり出して少し廻すとチェーンのクリアランスによって②ピンホルダーが緩み固定が不安定になりますので必ず締め増しを適度実施してチェーンを再固定して下さい。
* ②の締め増しを実施しないまま作業を進めるとチェーンが半固定になりチェンカッター部品・チェーンの破損原因に繋がります。

チェーンプレートからチェーンピンが抜ける時に少しトルクが掛り、抜けると軽くなります、反対のチェーンプレートまで来るとまた少しトルクが掛ります、この時点から①カッターピンを2~3回転した所がチェーンピンが抜ける位置です。

手順7.

手順6. が終われば①カッターピンを左に回しチェーンよりピン先が抜ける位置まで戻します。②のホルダーをゆっくり左に戻すとチェーンが外れます。